

2018 年第 19 回認定看護管理者会総会・研修会の報告

日時：2018 年年 1 月 27 日（土）10 時～16 時 30 分

会場：新横浜国際ホテル南館マナーハウス 2 階

参加者数：86 名 委任状 325 名（会員総数 742 名）

会則第 14 条に従い、委任状に含め過半数を超えたため総会成立する



総会（10 時～11 時 15 分）

議案第 1 号 2017 年事業報告

議案第 2 号 2017 年会計報告・監査報告

議案第 3 号 会則第 2 章の改定

議案第 4 号 会則第 4 章の改定

議案第 5 号 2018 年事業計画

議案第 6 号 認定看護管理者会会員事務局との契約内容変更について

議案第 7 号 2018 年予算

議案第 8 号 役員改選

報告事項

第 1 号 第 21 回日本看護管理学会学術集会インフォメーション・エクスチェンジ アンケート結果報告

第 2 号 認定看護管理者会会員活動及び要望に関する調査結果報告

議案はすべて承認されました。平成 2018 年度は下記の重点目標を以て、各地区ブロック役員とともに活動してまいります。

1. 認定看護管理者として、ネットワークを活用した地域連携を進め、地域包括ケアシステムの構築に参画する
2. 看護師の役割拡大のため、特定行為研修制度を活用する
3. 地区ブロックと都道府県の認定看護管理者とのネットワークを構築し、活動を強化する



ブロック別懇談会（11 時 20 分～12 時 20 分）

2018 年の重点目標に基づき、「地区ブロックにおける各都道府県の認定看護管理者とのネットワーク構築について」をテーマに参加者総数 115 名で討議しました。

研修会

特別講演（13 時 30 分～15 時） 参加者総数：会員 118 名、非会員 3 名

テーマ：認定看護管理者に期待すること

- 地域包括ケアシステム、そして同時改定に臨む -

講師：公益社団法人日本看護協会 会長 福井トシ子先生

内容：2025 年に向けた医療提供体制を整えるために地域包括ケアシステム構築は必須。

そのために認定看護管理者は地域の事業項目を把握して、自施設の果たす役割を明確にする必要があることを強調して話されました。活動するための基金・補助金の流れを理解



し、これらを活用するのも大きな役割であり、看護管理者として重要な意思決定力、交渉力を駆使して挑むことを期待されています。診療報酬改定の方向性を話されましたが、自分の組織の現状をデータで管理し、役割や地域をよく把握すること、そして、その中で看護が何を狙っていくのか、実践能力の高い看護職の育成も必要とまとめられました。

実践報告（15:15～16:45） 2題

「高めよう看護の力 ―地域で暮らすその人の生き方を支えるために―」

広域紋別病院 副院長兼看護部長 石川ひろみ 氏

「基金活用による地域包括ケア推進のための看護管理者実践能力向上支援事業」

公益社団法人滋賀県看護協会 会長 廣原恵子 氏

意見交換

実践報告に対する多くの意見質問が上がりました。認定看護管理者として、医師、保健師、助産師、看護師、介護者、行政、各施設とどのように関わり、資金を得て活動するかが必要で、そのためにもそれぞれの役割や課題を知り、意思決定を支えることも求められていると感じました。これらを認定看護管理者の課題として持ち帰れる報告会となりました。

1. 懇親会（17:00～19:00）

会場：新横浜国際ホテル 南館マナーハウス 3階 参加者：80名

認定看護管者会会長挨拶、日本看護協会会長挨拶から始まり、立食形式で、ブロックの紹介と会員交流があり、ネットワークを深めることができました。



2018年新役員の紹介

会長：佐藤 美子 副会長：福地 洋子、森本俊子

常務理事：森本 一美、坂本美佳子、呉竹礼子、白井麻希、長田 佳予子

財務理事：澤邊 綾子 監事：松本 淳子、真砂 由利

北海道・東北地区：近藤 ときえ、信夫^{しのぶ} 松子

関東・甲信越地区：粕谷 文子、丸山 紀子

東海・北陸地区：植村 真美、野村仁美

近畿地区：千種 保子、原田 幸子

中国・四国地区：松本 久美子、日下 とよみ

九州・沖縄地区：福島 和代、松田 智子